

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度川辺川流域情報活用検討業務
業 務 概 要	資料収集整 1式 河川環境情報と地域振興計画の関係性整理 1式 合同現地調査 1式 環境情報活用方針検討 1式 川辺川流域情報マップ（仮称）作成検討 1式 検討成果の試行活用・活用展開等に向けた検討 1式 広報資料作成 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所長 齋藤 正徳 熊本県球磨郡相良村大字柳瀬3317
契 約 年 月 日	令和 6 年 8 月 9 日
契 約 業 者 名	西日本技術開発（株）
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区渡辺通1-1-1
契 約 金 額	29,986,000円（税込み）
予 定 価 格	29,986,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙の契約理由書のとおり
業 務 場 所	川辺川ダム砂防事務所管内外
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間（自）	令和 6 年 8 月 1 0 日
履 行 期 間（至）	令和 7 年 3 月 1 4 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度川辺川流域情報活用検討業務
2. 履行場所 川辺川ダム砂防事務所管内外
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区渡辺通 1-1-1 電気ビルサンセルコ別館
会社名：西日本技術開発株式会社
電 話：(092)781-2831
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、川辺川流域で行われた環境調査や環境影響検討成果を活用し、河川の物理情報や生物情報、河川空間の利活用や保存・改変にあたっての留意点等について「川辺川流域情報マップ（仮称）」として分かりやすく整理するとともに、環境教育や防災教育、流域の地域間（上下流）交流や流域住民の利活用などの地域振興に向けて、その用途や利便性に応じた仕組みやツール開発を検討するものである。

- 2) 業務の内容

資料収集整理	1 式
河川環境情報と地域振興計画の関係性整理	1 式
合同現地踏査	1 式
環境情報活用方針検討	1 式
川辺川流域情報マップ（仮称）作成検討	1 式
検討成果の試行活用・活用展開等に向けた検討	1 式
広報資料作成	1 式

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、5者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「川辺川流域で得られた河川環境情報（調査結果）を地域振興に活用するための留意点及び工夫」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されているとともに、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示され、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4 第三号により、

上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)
川辺川ダム砂防事務所 調査課長